

『総合計画』と『まち・ひと・しごと創生 総合戦略』について

「第4次館山市総合計画」と「館山市まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の関係
(イメージ)

◆総合計画とは

- 総合計画は、将来、館山市をどのような「まち」にしていくのか、そのための具体的な方策を、総合的・体系的にまとめたものです。
- 「市の最上位の方針」として位置づけられ、福祉や産業、都市計画、環境などすべての分野について、長期的なまちづくりの方向と施策を示しています。
- 現在策定中の第4次総合計画の計画期間は、平成28年度～37年度の10年間となります。

第4次館山市総合計画

基本構想：10年間（平成28年度～37年度）

まちづくりの長期的な指針

基本計画：5年間

基本構想を実現させるための具体的な方策をまとめたもの

前期（平成28年度～32年度）

後期（平成33年度～37年度）

館山市まち・ひと・しごと創生
総合戦略

（平成27年度～31年度）

◆まち・ひと・しごと創生 総合戦略とは

- 急速な少子高齢化の進展と人口減少に対応し、地方創生を実現するための、今後5年間の目標や具体的な方策を提示します。
- 以下の4点を目指す方向性として計画を作成しています。
 - ①館山市の特性を活かした多様な「しごと」の創出
 - ②館山市への「ひと」の流れをつくる
 - ③結婚・出産・子育ての希望しやすい「まち」づくり
 - ④安心・安全で、持続可能な「まち」づくり
- 計画期間は平成27年度～31年度の5年間となります。